

年金の請求をお忘れではありませんか？

心当たりのある人は、早めにご相談ください。

1 年金の加入期間が25年未満の人へ

■ 年金加入期間が25年未満でも、カラ期間[※]と合わせて25年以上あれば年金が受け取れます。

※カラ期間の例：サラリーマンの配偶者の期間のうち、昭和61年3月までの間で国民年金に任意加入していなかった期間など

■ 生まれた年などにより、25年未満でも年金を受け取れる場合[※]があります。

※誕生日が昭和27年4月1日以前生まれで、厚生年金の加入期間が20年以上の場合など

3 厚生年金の加入期間のある65歳以上の人へ

■ 「老齢厚生年金」と「老齢基礎年金」の2種類の年金が受け取れます。片方の年金だけを受け取っている人は、受け取っていない年金についても、あらためて請求を行ってください。

■ 片方の年金の受け取り開始を繰り下げている人は70歳になるまでに年金の請求を行ってください。

5 60歳以上で、会社に勤めている人へ

■ 現在、会社に勤めている人も、年金を受け取る資格を満たしている場合は、請求の手続きを行ってください。

■ 給与の額などに応じて年金の支払額の調整が行われる場合がありますが、全額停止の場合を除き、年金を受け取ることができます。

2 年金の受け取り開始を66歳以降に繰り下げている人へ

■ 70歳になっても、年金は自動的に支払われません。

■ 年金の受け取りを始めるためには、年金の請求が必要です。

4 厚生年金の加入期間のある60歳～65歳の人へ

■ 厚生年金の加入期間が1年以上あるなどの要件を満たす人に対して支払われる「特別支給の老齢厚生年金[※]」については、65歳になる前に請求しても、年金額が減らされることはありません。速やかに請求を行ってください。

※特別支給の老齢厚生年金：65歳前に受け取ることができる老齢厚生年金



直方年金事務所
直方市知古1-8-1
☎ 0949-22-0891 (お客様相談室)
☎ 0949-22-0905 (国民年金課)



わたしの主張

今回の主張を受け、福智町教育委員会の徳久公博指導主事は「それぞれが日常生活の中から改善点を探り、わたしたちに何ができるかを訴えた素晴らしい主張でした」と講評を述べました。

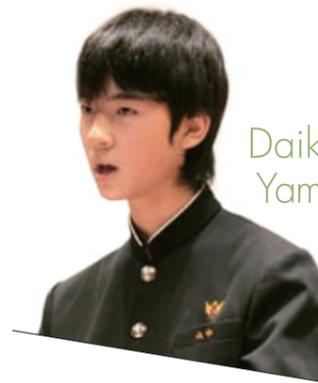


Yui Takeo

赤池中2年
竹尾 優衣さん
「未来の福智町へ」

み

なさんは、ふるさとであるこの福智町をどのように思っていますか。わたしは、残念だけれど胸をはって「ふるさと」と言えないと思います。薬物乱用者が多いこと、爆音のするバイクや車で走っている人がいること、そしてあいさつが少ないことが理由です。一番減ってほしいのは薬物乱用です。薬物をして事件を起こすと、ニュースにもなり、町のイメージが悪くなります。また、薬物は、している人だけでなく、家族や友人、大切な人までも困らせるので、わたしは福智町からそんな人が一人でも減ってほしいと思っています。福智町はダメなこと、自慢にならないことだけではありません。白糸の滝は、水がとてもきれいです。上野焼や、いろいろな木や草花がある素晴らしい福智山を目当てに、遠くから福智町に来る人もいます。このような福智町の良いところが、今よりもっと多くなり、将来、みんなが胸をはって町を紹介できるようになってほしいです。そのために、わたしたちが今できることは「自分が今、何をすべきか、一つ一つの行動をする前に考えること」です。いつも自分にそう問いかけながら生活すれば、当たり前のことを当たり前に行えるようになると思います。中学生のわたしたちが「今、何をすべきか考えて行動する」ようになると、将来、明るく元気で犯罪などをする人のいない福智町になる日がくるかもしれませんね。



Daiki Yamanaka

方城中2年
山中 大城さん
「みんなが笑顔になれる世界へ」

世

界には、戦争をしている国がたくさんあり、それらの国では「人権」が奪われていると思う。日本も昔、戦争をして、たくさんの人々を犠牲にした。広島の大原爆による死者は12万人、長崎では9万人、日本で唯一の沖縄の地上戦では、20万人以上が亡くなった。沖縄の『ガマ』という防空壕のような洞窟では、赤ちゃんが泣き出すと、日本兵が「泣き止まないと殺すぞ」と、赤ちゃんの首を切ったり、毒で殺したという話だ。さらに、ガマの中にいる兵士ではない大人も、赤ちゃんを殺したりするので、まだ赤ちゃんだった弟を連れだした少年は、ガマから逃げ出し、墓の中に隠れたという。しかし、その弟も少年の腕の中で死んでいった。なぜ大人がこのような酷いことをするのかというと、泣き声で隠れているのがばれるからだ。極限状態にまで追いつめられた人間は、人間じゃなくなるから恐ろしいと思った。世界では、今もこのような思いをしている人が現実にたくさんいる。大人はもちろん、小さな命をも奪うことになる戦争は、やはり無くしていかなければならない。そのためには、まず、わたしたちが平和の素晴らしさを忘れず、多くの人に伝えていくことが重要だ。一人の力で戦争を止めることは難しい。みんなが少しずつ努力し、大人から子どもまでが仲良く笑い合えるようになれば、平和な世界がやってくると、僕は信じている。



Hironao Ozaki

金田中2年
尾崎 弘直さん
「感謝」

飲

み水も無くお腹を空かし、学校へ行けない子どもが世界にはたくさんいます。そんな中、僕が何不自由無く生活できているのは、周りの人の支えのおかげだと思います。戦争があっている国では、いじめなどはありません。明日の命が保証されない中、懸命に生きています。ではなぜ、日本ではいじめがあるのでしょうか。それは豊かな生活があるからだと思います。何不自由無い生活が普通になっている日本人は、その普通の生活についても一度見直すことが大切です。僕たちの普段の生活態度は、世界中の恵まれない人や、支えてくれる人たちにとって、失礼な行動が多々あると思います。例えば、食べ物を簡単に残したり、学校生活に一生懸命取り組まず怠けたりです。世界の状況を考え、今の自分の生活に感謝すれば、自然と行動や態度は改まり、普段の生活が変化するでしょう。みなさんには、ぜひ感謝の気持ちを言葉にしてほしいと思います。相手に何かをしてもらえれば、必ず感謝の気持ちが生まれると思います。その気持ちを素直に言葉で表すと、みんなが豊かな気持ちになり笑顔が増え、人に優しくなれると思います。どれだけ本気で恥ずかしがらずに感謝の気持ちを伝えられるかで、人間は決まると私は思います。僕自身「ありがとう」とおして人に感謝を伝えられるよう、今後の中学校生活を送っていきます。